



けやき 第2号

R4. 5. 31発行
文責 光山

令和4年度 第76回体育大会テーマ

『ADVANCE』

～やればできる みんなと共に 一歩ずつ踏み出そう～

共に踏み出し「前進」した体育大会！

5月21日(土)に第76回佐敷中学校体育大会を開催することができました。今年度も新型コロナウイルス対策を取りながらの開催となり、地域の皆様をはじめ、多くの皆様にご遠慮いただくことになり、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。同時にご協力に改めて感謝申し上げます。

大会当日は、前日から朝方にかけて雨が降り続き、グラウンドコンディションも心配されましたが、雨雲の動きや予報を確認し、午前六時までに開催を決定しました。開会式までに雨は上がり、グラウンドコンディションも上々で、熱中症の心配もありません。練習期間は雨の日が多く、運動場での練習がままならない中でしたが、生徒たちは、今できることを前向きに考え、励まし合いながら準備練習に打ち込んでいました。その成果は本番でも見事に発揮されました。

大会記録に迫る走りを見せてくれた800m・1500m走、そして、全生徒が全力で走り抜けた100m走では、いつの間にか一人一人を応援していました。また、大縄跳びでは、最高記録を更新する学級が続出し、応援にも力が入りました。体育大会本番でそれ以上の力を発揮する生徒が何人も出るなど、全力を出して挑戦する生徒の姿にたくさんの感動をもたらしました。また、下級生を引っ張り一糸乱れぬ動きを引き出した集団行動、昭和から令和へと時代を彩る曲に合わせたノリノリのダンス、そして、空気を切り裂くような気迫あふれる応援団演技からは、最後の体育大会にかける3年生の熱い思いがひしひしと伝わってきました。

佐中生として協力し、それぞれが今できる力を出し切ったことで、大会テーマ「ADVANCE」(前進)は、一人一人の間に達成感・充実感として刻み込まれていったと思います。佐中職員としても佐中生の姿に「前進」を実感しました。



開会式！！
姿勢も Good!



迫力満点！白団の決めポーズ



一糸乱れぬ美しい青団の構え



獅子奮迅



大変お世話になりました！

「美化作業」

5月15日(日)には保護者の方々に多数お集まりいただき、早朝から草刈り等の美化作業を行いました。当日は100人を超える参加者があり、運動場まわりをはじめ、プールや体育館裏等伸びていた草を刈払機や手作業で除草し、刈り取った草等はトラックを使って処分していただきました。おかげで、体育大会を迎えるにふさわしい環境を整えることができました。ただただ、感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。また、当日は、陸上部、サッカー部、野球部等部活動の生徒も早く登校し、グラウンド整備に熱心に取り組んでくれました。生徒たちのその姿に、「親の背中を見て学ぶ子供の姿」を感じることができました。

【あとかぎ】

体育大会の一週間前まで雨にたたられ、ほとんどが室内での練習でした。残り五日間となった体育大会の週は、雨の影響を受けることなく、短期集中での練習と準備を行うことができました。わずか5日間しかありませんでしたが佐中生の集中力は素晴らしく、全てに精度を上げてくれました。

体育大会の挨拶で、1年生には、「この一月半あまりの間に、中学生らしく遅くなった姿を見せてほしい」2年生には、「後輩ができて学校の中心学年として3年生と遜色なく活動できるようになった姿を見せてほしい」3年生には「佐敷中のリーダーとして体育大会にかける熱い思いを見せてほしい」と伝えました。どの学年もそのエールに見事に応える姿を見せてくれました。

特に、入学して間もない1年生は、体力、気力ともに消耗していたと思いますが、上級生から指導を受け、支援や励ましにかけてもらいながら精一杯最後まで取り組んでいました。

小学校卒業からわずか2ヶ月しか経っていませんが、体育大会の中の一一人の動きと表情から、中学生としての頼もしささえ感じるようになりました。

(光)